

# 本書の使い方

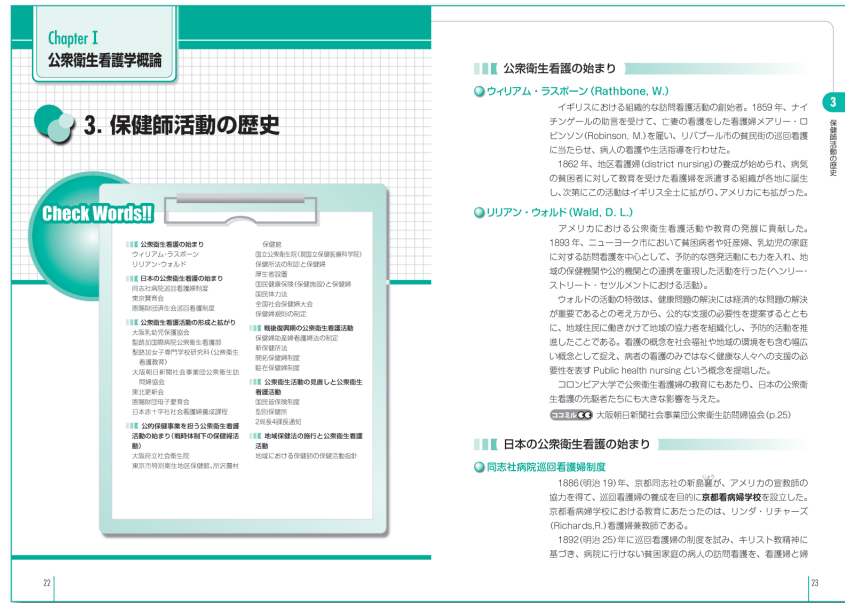
(本書から抜粋／実寸)

本書は、保健師養成課程の学生向けに、必要な知識が速習できるようにまとめた用語集です。

「理念」「経緯」といったバックグラウンドを丁寧に記述しているのが、本書の特徴です。これらを理解することが、国家試験に必要な知識を身につける上でも結果的には最短の道となります。大学での授業や実習中はもちろん、国家試験直前までいつも手元に置いて、活用してください。

## Point 1 CheckWords!! に目を通そう

各項目のはじめには、掲載された用語の一覧「CheckWords!!」があります。ここで、項目の大体の構造を知ってから学習を始めるとよいでしょう。



## Point 2 「読む用語集」として役立てよう

実習中、国家試験に向けた学習中、さらには保健師業務に就いてからも、ある項目を短時間で把握したいとき、本書は役立ちます。コンパクトな記述に加え「定義」「歴史・変遷」といった小見出しがついているので、知りたい知識にすぐたどり着けます。

また、ひとつの項目の記述は短めで、それぞれを関連づけて並べていますから、忙しい時間の中でも、好きな箇所から読み進めることができます。

## Point 3 アイコンで学習を深めよう

**ココロ** は、別項目の関連ページを示しています。違った視点から知識を深めることができるので、ぜひ参照しましょう。

**Motto!** では、用語の説明にとどまらない、付加的な内容を紹介しました。保健師活動の本質を理解するために、あるいは実務に就いた際に役立つことをご紹介します。

**度とは**  
わが国の社会保障制度の法的基礎は、日本国憲法第25条第2項である。  
**ココロ** 保健行政(公衆衛生)(p.249)  
1950(昭和25)年の社会保障制度審議会勧告によると、「いづゆる社会保障制度とは、疾病、負傷、分娩、産疾、死亡、老齢、失業、多子その他の困窮の原因に対し、保険的方法または直接公の負担において経済保障の途を講じ、生活困難に陥つた者に対しては、国家扶助によ

援助業務に5年以上(一部10年以上)従事した経験のある者であり、実務研修受講試験を受けたのち実務研修を受講し、修了後に修了証明書および登録証明書の交付を受けて資格者となる。  
**Motto!** 資質向上体制：2005(平成17)年の介護保険制度改正により、介護支援専門員の資質・専門性の向上を図るため、①資格の更新制(5年間)、②重畳指定制(ケアプランのチェック)の導入、②更新研修の義務化・体系化、③主任ケアマネジャーの創設などの見直しが行われた。

## Point 4 さくいんを活用しよう

巻末にさくいんページがあります。保健師に向けての学習中、そして保健師として業務に就いてからも、疑問を感じる用語が出てきたらすぐに探してみましょ

## Point 5 コラムは応援メッセージ

Chapter I から Chapter III にかけての任意のページに、コラムが挿入されています。保健師を目指して学んでいる皆さんに向けて、保健師活動の原点とは何かを伝える熱いメッセージです。学習の合間に、ぜひ目を通してみてください。

**Column**  
**家庭訪問に前向きに臨むために!**  
保健師活動の中でも地域の方々と密の関わりができ、やりがいや実感できる支援技術に「家庭訪問」があります。しかし、最近「家庭訪問に消極的な新任保健師が多い」とよく聞きます。現場に消極的な新任保健師が多いと、業務の推進が難しくなる可能性があります。  
対策として、厚生労働省からは、「新人看護職員研修ガイドライン」が示され、研修プログラムや技術指導も紹介されていますが、保健師の働くべき現場で有効に活用できるには時間がかかるように思います。  
職場の条件は異なっても、達成感のある訪問をするために工夫してみてください。  
○人々の暮らしの実態や健康の様子を書きとめるために「保健師ノート」をここで活用しても、地域を基盤にして人々の生活と健康課題の関連を考えたような活用は非違しています。活動を振り返って見たこと、聞いたこと、読んだ資料や調査データから読みとったことなどを「保健師ノート(注目の知見)」にこまめに整理しておくことで、共通する話題が話題になって対象との信頼関係構築でき